

2022 年度 WAVOC 支援ボランティア団体 紹介冊子



早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター



WAVOC へようこそ！

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）は、ボランティア機会の提供や関連イベントの開催、社会貢献に関する科目の提供、ボランティア活動に従事するプロジェクト・サークルの支援等、様々な活動に取り組んでいます。

本冊子では早稲田学で活動する多種多様なボランティアプロジェクト・サークルを紹介しています。いずれの団体もウェブサイトや SNS に詳細が掲載されていますので、活動内容、団体の規模、活動頻度など、気になる団体があれば積極的に連絡をとってみてください。それが、あなたの大学生活を変える第一歩になるかもしれません。

早稲田ボランティアプロジェクト

WAVOC の教員それぞれの専門性を活かし、その指導の下、活動する WAVOC 主催プロジェクトです。学生自身が主体性をもって取り組み、成長していくことを教員がサポートします。

学生部公認サークル

本学が定める設立要件を満たした、早稲田大学公認のサークルです。

学生部登録サークル

公認ではありませんが、本学に団体登録、活動の届け出をしているサークルです。

WAVOC はいずれの団体の活動も支援しています。

WAVOC が開催するイベント・スタディツアー情報はメールニュースで配信、または SNS に投稿しています。是非登録、フォローのうえ、活動にご参加ください。



メールニュース



WAVOC Twitter



目次

1. 早稲田ボランティアプロジェクト

・災害ボランティア研究会	2
・フードグローバルプロジェクト	2

2. 学生部公認サークル

・アトム通貨実行委員会	3
・池袋子ども会	3
・新宿子ども会 KIDS	4
・環境ドリゲス	4
・気仙沼チーム	5
・広域 BBS 会	5
・思惟の森の会	6
・児童文化研究会	6
・チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～	7
・農楽塾	7
・POST	8
・まつだい早稲田じよんのびクラブ	8
・ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～	9
・WHABITAT	9
・ロータリーの会	10

3. 学生部登録サークル

・いぐべおぐに	10
・ISHINOMAKI の朝日プロジェクト	11
・いすみっこ	11
・学習支援 STEP UP!	12
・学校ボランティアプロジェクト	12
・狩り部	13
・Grow Seeds Waseda	13
・Ju-Ju～カンボジア村ひと共生プロジェクト～	14
・助走の場・雲	14
・先生のための教育辞典 EDUPEDIA	15
・つぼみプロジェクト	15
・日本教育再興連盟 ROJE	16
・無国籍ネットワークユース	16
・早稲田農業サークルこだま	17

災害ボランティア研究会

災害ボランティア



子どもたちの防災リテラシーを高めるための教育活動に参加してみませんか？このプロジェクトでは、より良い災害ボランティアのあり方について考え、それをもとにキャンパスの近隣や被災地で実践的な活動を行います。

この活動では、地域社会や、行政機関、研究機関など、様々な分野との連携を大切にしています。そのため、児童館や、高齢者のボランティア団体、自治体の職員、早稲田大学外の研究者など様々な人々と協力しながら活動を行います。

- 「研究者コミュニティに入りたい」
- 「地域の子供と交流したい」
- 「高齢者の知恵を後世に残したい」

このような様々な思いを「防災ボランティア」をキーワードに、みんなで協力して実現していきましょう！

◆活動計画

1. 防災ボランティアの方法についての研究：週1回（オンラインでの参加も可能）
2. 『防災絵本』の製作と読み聞かせ：月1回（読み聞かせを行う学生のみ参加）
3. 被災地でのボランティア活動の後方支援：災害発生時（交代制で毎日実施）

この中でも、地域での社会貢献活動として、特に2に力を入れて活動を行います。とはいえ、もちろん、1や3のみでの参加も歓迎します。

問い合わせ先 wavocsaigai@gmail.com
メンバー数 約10人
参加費用 なし
活動時期・頻度



フードグローバルプロジェクト

食、国際理解、多文化共生、グローバル・シティズンシップ（地球市民性）



私たちは「フードグローバルプロジェクト」、略して「フグプロ」です。グローバルな課題をローカルから解決するため「食から始めるグローバル社会共創～「おいしい！」からつながる世界とわたし」をスローガンに、2021年秋から活動しています。ここでのローカルとは私たちの手の届く範囲です。

ローカルな課題はやがてグローバルな課題につながっていきます。そこでローカルとグローバル、双方の視点で社会課題を解決することが、私たちの目的です。

◆活動計画

- 4～6月 新入生歓迎ワークショップ
 - 6月以降 偶数月にレストラン訪問 & 食を通じた在留外国人との交流型ワークショップ
 - 11月 早稲田祭
 - 12月 ユースフェスティバル活動報告
 - 2月 年間総括 & 振り返り合宿
- ※ ここに記載された内容はあくまで予定です。活動内容については毎年メンバー間で協議の上決定します。

◆Episode 交流を通じて

私たちは初めての活動として飲食店で働く在留外国人にインタビューを行いました。そこで驚いたのは在留外国人コミュニティの狭さ。お店の中だけで交友関係が完結し、外出の際もそのメンバーで出かけるのが普通なのだそう。彼らはその生活に不満もない様子でした。このようなコミュニティが狭い現状は私たちにとってインタビューを通して得た新たな気づきです。メディアでフォーカスされないこの事実は日本人の在留外国人に対する無関心を表出しています。

この発見を得たからこそ私たちは交流、発見の場を大切にしたい。そこで私たちは交流の場を創造し、助け合い学び合える社会的土壌をつくることを軸に活動していきます。

問い合わせ先 food.glocal.project@gmail.com
メンバー数 27人
参加費用 年間 6,000円程度（主として交通費）
活動時期・頻度 試験前、長期休みを除き基本的に毎週ミーティング（原則として対面）



アトム通貨実行委員会 新宿支部早稲田高田馬場エリア

地域活性化・環境・教育・国際協力



アトム通貨は早稲田・高田馬場の更なる活性化のために生まれた地域通貨で、早稲田大学の学生が運営しています。アトム通貨は早稲田・高田馬場にある約 130 の加盟店で使用できます。イベントを実施し、「社会貢献活動（イコト）」をしてくれた参加者にお礼として通貨をプレゼントしています。また、地域のイベントでも企画出展をして通貨を配布しています。

地域の人や他の地域サークルの人たちと深い関わりを築くことができ、普通の大学生とは少し違う充実した大学生活を送れるはず。早稲田のまちを舞台に自分のやりたいことを形にしてみませんか？ぜひ早稲田を第二の故郷に！

◆活動計画

4月 オープニングイベント 5月 クリーン大作戦 6月 クリーン大作戦
7月 打ち水大作戦 8月 夏合宿 9月 地球感謝祭
など年間を通して早稲田・高田馬場の街を舞台に様々なイベントの実施、参加をしています。

◆Episode アトムと一緒にまちへ出よう

アトム通貨の強みは早稲田のまちを舞台に大きく活躍できることです。大学生だけではできないイベントでも商店会をはじめとした地域の方々の協力の下、たくさんのイベントを成し遂げてきました。アトム通貨には商店会の方々の中に完全に溶け込んでいる人や地域の方々から親しまれている人など様々なメンバーがあり、誰もが各々の強みを生かして活躍できる環境が整っています。

まちづくりや地域に興味のある人、イベントの企画や運営をしたい人、真剣に物事に取り組みたい人、多様なスキルを身につけたい人といった様々な人が集まっているので刺激を受けることができます。

問い合わせ先 atom.c.wt@gmail.com

メンバー数 14人

参加費用 なし

活動時期・頻度 週1回のミーティングと月1~2回のイベント



池袋子ども会

教育・地域交流



私たち池袋子ども会は、毎週日曜日の午前中に豊島区の小学校で子どもたちと触れ合い、木曜日には季節のイベントの企画等を学生で話し合います。当会の絶対の目標は、子どもに普段できない体験を味わわせることです。子どもにとって、かけがえのないものとは何なのか。目線を合わせて考えるのは少し難しいですが、彼らが見せてくれる、太陽のようにまぶしい笑顔は、私たちの思い出にもなります。

サークルの雰囲気は、ゆったりとしており、学生にとっての温かい居場所でもあります。「子どもが好き」が入会条件です。ぜひ、お待ちしております。

◆活動計画

4月：新歓、5月：春のハイキング、8月：キャンプ、9月：花火会・学生合宿、
10月：秋のハイキング、12月：風の子まつり・クリスマス会、2~3月：卒業ハイキング・
卒業イベント・学生合宿（その他イベント多数）

◆Episode

私自身、保育士を目指していた時期もあり、子どもと遊べるサークルがあると聞いた時は素直に「楽しそう！入りたい！」と思いました。しかし池袋子ども会は東京家政大学との合同サークルで、東京家政大学には子どもに関する学部学科も多いことから、早稲田生は入りにくいのではないかと感じていました。

しかし、結論から言えば全く心配することはありませんでした。子どもと関わる上で必要なことは先輩方が丁寧にサポートしてくれましたし、活動の中で少しずつ慣れてきました。何より子どもたちは本当に可愛いので、その気持ちだけで十分やっていけると思います！皆様ぜひお待ちしております！！

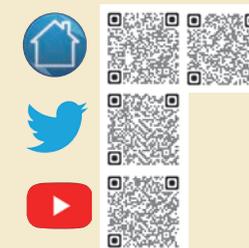
問い合わせ先 ikebukurokodomokai_mail@yahoo.

co.jp

メンバー数 81人

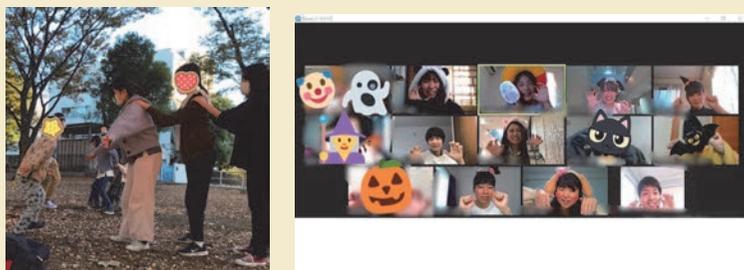
参加費用 5,000円

活動時期・頻度 毎週木曜日の夜・日曜日の午前中



新宿子ども会 KIDS

教育



1982年から続く早稲田の公認サークルです。毎週土曜日に戸山公園近くの集会室を借りて、特別支援学級に通う子供たちと楽しく遊んでいます。毎週土曜日の活動では、2、3人の学生を中心に活動のテーマを決め、子供と学生が楽しめる工作と集団遊びを準備します。

活動の後には反省会を行い、子供や学生の良かった点や気を付けるべき点を確認します。コロナ禍に際して、対面活動とオンライン活動を行なっています。子供たちとの触れ合いに難しい知識は必要ありません。ご連絡をお待ちしております。

◆活動計画

4月：新歓活動 6月：春遠足 8月：サマーキャンプ 9月：学生合宿
10月：秋遠足 12月：クリスマス会 2月：調理実習 3月：卒業式、追いコン
他にも学生だけのレクリエーション活動も充実しています！

◆Episode 大学生生活の不安を解消できた場所

新宿子ども会 KIDS では時期に合わせてオンラインと対面で活動を行なっています。私が入会した時は完全オンラインで、右も左も分からず、しかも慣れない環境で不安しかありませんでした。ですが、触れ合うきっかけを設けてくれる先輩たちと元気に自分の呼びかけに反応してくれる子どもたちと遊べば、スッと気が楽になりました。

この子ども会の和やかな雰囲気がとても居心地が良くて好きです。オンラインでも対面でも温かな空気感のサークルが大学の癒しの場となっています。

問い合わせ先 shinjukukids@gmail.com
メンバー数 33人
参加費用 前期及び後期 4,000円ずつ
(入会から半期は不要)
活動時期・頻度 毎週土曜日



早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

環境・教育・地域活性



私達環境ロドリゲスは「学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」を理念として活動し、今年で26年目となる環境ボランティアサークルです。環境ロドリゲスの特徴は、「環境×○○」というテーマごとに分かれて活動していることです。現在は「里山」「海」「早稲田」「地域活性」「教育」「商品開発」という6つの企画が活動しており、自分の興味のある分野で、学生ならではの目線で環境問題と向き合うことができます。

環境問題に関心がある方も、何か新しいことを始めたいと思っている方も、環境ロドリゲスで楽しくボランティアを始めてみませんか？

◆活動計画

4,5月：新歓、レレレ隊(新歓ピラ回収)、新歓合宿、新歓遠足
6,7月：試験期間、早慶サッカー(ゴミ分別指導)
8,9月：鯖江訪問、東北訪問、佐渡旅、出前授業(小学生向け環境教育)、地球感謝祭
10,11月：稲門祭、早稲田祭、理工展、秋合宿、鹿野山訪問、西早稲田こども天国
12,1月：総会、勇退会、エココン、試験期間
2,3月：出前授業、鯖江訪問、春合宿、追いコン

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと

環境ロドリゲスは今まで、ゴミの分別指導や商品開発、環境教育イベント、さらには里山・地域訪問のように、「人とのつながり」を大切にしながら、実践的な活動を幅広く行ってきました。昨今のコロナ禍により現在はオンラインでの活動が中心ですが、それでも「人とのつながり」は途切れることなく、日々楽しく様々な取り組みを行っています。また、メンバーが個人的に海でゴミ拾いをしたり、出かける際はエコバッグを持参したりと、一人ひとりが環境問題をより身近に感じることができています。

環境ロドリゲスでの活動を通じて、このような「日常の小さなこと」にも気づいて行動してみることの大切さを学ぶことができました。

問い合わせ先 rodo_contact@yahoo.co.jp
メンバー数 45人
参加費用 2,000円/半年
活動時期・頻度 1年中(試験期間を除く)・1企画当たり
週1回(複数企画掛け持ち可能)



早稲田大学気仙沼チーム

地域交流、地方創生、東日本大震災復興支援



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。仮設住宅や災害公営住宅での交流会、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディーツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。

今年度は、昨年度実施した note での情報発信活動を発展させ、フリーペーパーの製作を主に行いました。東日本大震災から 10 年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興支援を行っています。

◆活動計画

(2021 年度) 4 月 新歓活動 (ボラカフェ含む) 5 月 新入生歓迎イベント
6 月 気仙沼チーム勉強会 フリーペーパー制作 3 月: 東日本大震災追悼企画 (予定)

◆Episode

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にポツと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちも「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかがありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させてね」しみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちが溢れているんだと実感した。

この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

問い合わせ先 kpjt2011@gmail.com

メンバー数 29 人

参加費用 会費：なし (2021 年度)

現地活動: 随時

(感染状況により変動します)

活動時期・頻度 二・三か月に一度の気仙沼訪問

(感染状況により変動します)

その他月に 2 回程度ミーティング



早稲田大学広域 BBS 会

人権・教育・学習支援



法務省保護局更生保護協力団体。非行や不登校、虐待など、保護観察中の青少年や様々な生きづらさを抱えた子供たちに対し、お兄さん・お姉さんの立場で接するボランティア。先生でもなければ親でもない、支援臭のないロールモデルとなるのが目的です。少年たちと同じ目線で寄り添い、話し相手になったり、更生保護施設に出向いて学習支援を行ったり、グループワークでレクを企画したりしています。

また、施設見学や研修会など、年間スケジュールに記載のない単発のイベントもあり、自分のペースで活動を続けられるのも魅力の 1 つです。

◆活動計画

6 月 初夏のグループワーク、「社会を明るくする運動」広報バレード・式典
7 月 BBS 新会員研修会
8 月 納涼祭(一時保護所)、お楽しみ会(養育家庭)、後期総会、夏合宿
10 月 秋のグループワーク
11 月 市原学園(少年院)交歓会、OBOG 会
12 月 早稲田矯正保護展、クリスマス会(一時保護所)、合唱ボランティア(誠明学園)
3 月 春合宿、前期総会
(ただし、コロナでオンラインまたは中止、延期になっているイベントあり)

◆Episode 「ナナメの関係」だからこそできること

私は、児童福祉施設で子どもたちと関わる活動を行ってきました。ある子が、授業後に「大学生って楽しい？」と尋ねてくれました。私が勉強していることや興味があること、大学生はどんな生活をしているのか、などを話すと、そんな世界もあるのか！と感動した様子でした。施設にいても、色々な考えに触れて欲しい。そんな思いで、先生でも職員でも親でもない関係、「ナナメの関係」だからこそできることをやっていきたいと思えます。

問い合わせ先 w_bbs@yahoo.co.jp

メンバー数 143 人

参加費用 年 5,000 円

活動時期・頻度 不定期・随時



思惟の森の会

環境・農業・地域交流



思惟の森の会では、主に田野畑村で農業、林業、漁業、地域交流などを行っています。かの早稲田水は田野畑村で採取されたものです。村には早稲田大学の寮も設置されており、長期休暇には泊まり込んで村の方々のお手伝いとして農業や漁業に携わっています。ボランティア活動という意識だけでなく自身も活動を楽しむ意識があり、現在は森を使って子どもたちに新しい遊び場を提供する「プレイパーク」の計画も進行中です。合宿中は釜でお米を炊き、村の方からいただいた食材を用いてを自炊するので、合宿所での生活も楽しみの一つです。

◆活動計画

春休み（2月～3月）：挨拶回り ゴールデンウィーク：新歓合宿（田野畑村）
5月～6月：春季草刈り（東伏見キャンパス） 夏休み（8月～9月）：夏合宿
10～11月：秋季草刈り（東伏見キャンパス） 10月末頃：稲門祭
早稲田祭期間：秋合宿

◆Episode 「最高の瞬間」

田野畑村ではよく農作業のお手伝いに行きます。農家さんのお手伝いと言えば収穫を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実際は草むしりや無駄な葉の除去といった地味な作業が多く、お手伝いも大変です。しかし体験することで初めて、農家さんの実態と食の大切さを学ぶことができます。

日本では形の悪い野菜は販売されず捨てられてしまうことが多いですが、お手伝いに行くとこの野菜やご厚意によって自家栽培の食材を頂くことができます。頂いた食材で作ったご飯をメンバーで囲んで食べる時間は最高です。僕にとって田野畑村とは、人の温かさ、食のありがたみを教えてくれる大切な場所です。

問い合わせ先 mori.waseda@gmail.com
メンバー数 11人
参加費用 合宿参加のため諸経費（交通費、生活費等）（入会費・年会費0円）
活動時期・頻度 主に長期休暇期間に活動します。
月に一回程度ミーティングがあります。



早稲田大学児童文化研究会

地域児童ボランティア



70年以上の歴史を持つ、早稲田の児童ボランティアサークルです。都内のいくつかの児童館から依頼を受け、毎週、児童館へ来る子どもたちと遊ぶボランティアを行っています。ほかにサークル全体として人形劇の製作、公演も行っています。児童館、図書館、保育園などで披露するために、1年のあいだに3つの新作を準備します。台本や人形、小道具などすべて手作りです。

自分の都合に合わせてボランティアや人形劇の活動が行えます。子どもが好きな方、人形劇に興味がある方、何か新しいことを始めたい方、ぜひ一度見学にいらしてください！

◆活動計画

4～5月…新歓、春の人形劇公演 7～9月…夏の人形劇 8月…夏合宿（昨年はない） 11月…早稲田祭での人形劇公演（昨年はない） 12～2月…冬の人形劇

◆Episode

サークルに入って、児童ボランティアの「やりがい」は？と訊かれる機会があります。その度に返答に困る自分がありました。子どもたちと遊ぶことは、準備も含めて、何よりも楽しいことだったからです。サークルのみんなで作りあげた劇を見て子どもたちが歓声を上げてくれるのがうれしくて、子どもに何かを与えようという気持ちは正直ありません。むしろ子どもたちから影響を受けていることが多い気がします。

ただ、僕たちが子どもたちとの出会いを楽しんでいるということが、子どもたちに伝わって、何かの影響を残せているのかも、と思うときがあります。それが「やりがい」なのだと思います。

問い合わせ先 jikenwaseda@gmail.jp
メンバー数 20人
参加費用 なし
活動時期・頻度 一年中、週一回のミーティング



チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～

環境・教育・地域交流・国際



私たち、「チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～」、通称 HawaiiPJ は、早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)から生まれた、早稲田大学公認サークルです。アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のボルケーノ村にあるチャータースクール、“The Volcano School of Arts and Sciences (VSAS)”で、毎年春休み中の2月と夏休み中の8月下旬から9月上旬にかけて2週間、学生チームが現地に渡航し、日本文化教育支援や文化交流を行っています。

◆活動計画

年に2回の渡航、週に1回のミーティング、勉強会(ゲストを招くこともある)、ボランティアプレゼンコンテスト・ボラカフェへの参加、現地の学校への日本文化動画の作成・Google classroomを用いたオンライン授業

◆Episode

HawaiiPJの特徴はメンバー間の仲の良さとな活動を実現できる柔軟さにあります。渡航メンバーとはもちろん、それ以外の先輩や後輩とも活動を通して仲を深めることが出来ます。気さくで優しく、頼もしい人が多いためか、オンライン忘年会ではまるで実際に対面したかのように話に花を咲かせることが出来ました。さらに、グループでの毎週のオンライン会議はアイデアの源となっています。

最近ではコロナ禍での代替措置の一つとして、ハワイのことをメンバーに伝える studyday の企画案を実現させました。

問い合わせ先 hawaii.pj.aloha@gmail.com
 メンバー数 31人
 参加費用 年会費：2,000円、
 渡航費：20万～25万
 活動時期・頻度 夏(8月下旬～9月上旬)と
 春(2月下旬～3月上旬)



早稲田大学 学生 NPO 農楽塾

農業 地域交流



大隈庭園にある田んぼと畑の管理がメインの活動です。昼休みに行き、3限が空いているメンバーでよくご飯に行きます。また、早稲田幼稚園や墨田区のステップ学級と交流があります。田植えや稲刈りを一緒にやったり、遊んだりします。農家との交流もあります。所沢市で農業体験、かすみがうら市の鴨農家で、と殺や食肉加工体験ができます。

また、内藤とうがらしプロジェクトの一員でもあります。農業要素のないものから濃いものまで色々な企画を行っています。農業に関する勉強会兼交流会のような会も時々行っています。

◆活動計画

4月 新歓、田起こし、代かき、野菜栽培(通年)
 5月 田植え(幼稚園・ステップ学級合同企画)
 6月 ザリガニ釣り(幼稚園・ステップ学級合同企画)
 7月 ネット張り 8月 合宿* 9月 屋代村塾訪問*、内藤とうがらし収穫祭*
 10月 稲刈り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 11月 稲の脱穀、収穫祭
 2月 追い出しコンパ*、寒起こし、土作り 3月 合宿*
 農家訪問、勉強会など、その他企画随時開催 / *印は2019年度以前の活動実績

◆Episode

「早稲田”なのに、なぜ”田”んぼがないのか？」この素朴な疑問から、2004年私たち農楽塾は発足しました。そうして誕生した大隈庭園にある早稲田の「わせでん」。農楽塾はその「わせでん」を中心に幅広く活動してきました。発足から16年たった農楽塾ですが、これまでわせでんの稲作に加え、様々な活動を行ってきました。早稲田キャンパス南門で行っているバケツ稲は一般認知度も高く、南門のいち風景として馴染んできています。

内藤とうがらしプロジェクトでは、東京都や複数の学校とチームを作り、絶滅しかけていた江戸野菜の復興に力を入れてきました。私たちはこれからも「農を楽しみ、農を考える」をモットーに活動していきます。

問い合わせ先 nogakujuku@yahoo.co.jp
 メンバー数 57人
 参加費用 春学期2,000円 秋学期2,000円
 活動時期・頻度 通年 活動日は、月曜日～土曜日の昼休
 みと、土日に一日かけての各種農業体験



早稲田大学 POST

地域交流・農業



「ボランティアしてみたいけど、具体的に何がしたいかわからない…」 「いろんなボランティアに挑戦してみたい」 などなど考え中のそのあなた！ そんなあなたには POST がオススメ！ POST に入るとボランティアを通して、下は小学生から上は 90 近くのおじいちゃんおばあちゃんまで幅広い世代の方々と交流できます。

さらに、夏休みに農業体験をすることもできます！ 飲み会をしたり、ディズニーに行ったり、春合宿をするなどの遊びも充実！ 雰囲気の良さはボランティアサークルの中で一番の自信アリ！ ぜひ見学にいらしてください！

◆活動計画

毎週木曜 18:15~20:00 もしくは 21:00~22:30 : ミーティング (対面とオンライン併用)

毎月第 2 日曜日 : 高齢者との交流会(サロン)

夏休み : 農業体験 春休み : 春合宿など

◆Episode つながりは逆境を乗り越える力になる

世界的なパンデミックにより、人とのつながりが希薄化してしまった今だからこそ、かつては見えてこなかったつながり方やその重要性を私たちは知ることになりました。日常にあるつながりを大切にだけでなく、自分から外に働きかけることで人とつながることの温かさを実感できる、そんな体験ができるのが早稲田大学 POST です。

ボランティアは決して一方通行ではなく、双方向の人とのつながりであり、それを通じて相手を受け入れ、同じ空間に共にいることに喜びを感じることができます。団体を活動するからこそ生まれる人とのつながりを大切に私たちはボランティアをしています。

問い合わせ先 post.produce2022@gmail.com

メンバー数 21 人

参加費用 年会費 2,000 円

活動時期・頻度 ミーティング : 週 1 回

地域の高齢者との交流 : 月 1 回

学童のお手伝い : 週 6 回(シフト制)



まつだい早稲田じよんのびクラブ

教育・地域交流



じよんのびクラブは、新潟県十日町市松代・蒲生地域で教育支援や地域交流をするボランティアサークルです。じよんのびクラブの他のサークルと大きく異なる点が、現地活動の数です。約 1 ヶ月に一度、現地を訪れていて、地元の子供達やお年寄りと深く関わることができ、いつも元気を貰っています。また、十日町市役所の方にも全面的に協力して頂いて、とてもアットホームな環境です。

ボランティアというよりは、地元の方と一緒に楽しく過ごすことを重視して活動しています。メンバー同士は、人数が少ないこともあってとても仲が良いです。

◆活動計画

5 月 道普請・山菜採 6 月 新歓合宿 8 月 松代塾ジュニア (10 日程度)

9 月 秋祭り手伝い 10 月 よさこい祭り手伝い 2 月 雪国体験プロジェクト (一週間)

山菜採りは、収穫した後に地元のおばあちゃんが美味しい山菜料理に变身させてくれます。また、お祭りではラーメンの出店を手伝ったりもしています。特に、じよんのびクラブの二大プロジェクトが 8 月の松代塾ジュニアと 2 月の雪国体験です。松代塾ジュニアは、午前中に地元の小中高生に勉強を教え、午後は BBQ や花火、川遊びなど楽しい企画が盛りだくさんです。2 月の雪国体験は、雪かきのお手伝いをメインに民泊や温泉に浸かったり！

喧騒とした都会から離れて、一緒にゆっくり過ごしてみませんか？

◆Episode 人の温かさにふれて

自然豊かな地域でボランティアをすることに魅力を感じ、何気なくサークルに入ったのがきっかけでした。ボランティアは自分たちが進んで社会活動に無償で参加する人という意味があります。しかし、実際に現地で活動をしていく中で、私たちが与えるだけでなくむしろ現地の人々から与えられるものの方が多いと感じました。私たちが現地に赴くと、子どもたちから高齢者の方までとても喜んで迎えてくれ、家族のように接してくれます。現地の人たちの温かさ感謝の気持ちでいっぱいです。

私にとって松代はもう一つの故郷ともいえる場所です。現在大変な状況で活動に行けない日々が続いていますが、今できることを考え、活動していきたいと思えます。

問い合わせ先 jonnnobiclub@gmail.com

メンバー数 17 人

参加費用 各現地活動につき 4,000 円程度

活動時期・頻度 現地活動 : 月に一度

ミーティング : 週に一度



ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～

教育・国際



スーンは 2009 年から活動している早稲田大学公認のボランティアサークルです。『共に考え、共に感じる』という活動理念のもと、ラオス・チャンパサック郡において、小学生の子どもたちの教育支援活動を行なっています。現地への渡航では、授業を行うほか、村の方、先生方との交流や家庭訪問など、村全体を巻き込んだ教育へのアプローチを行なっています。国内では週 2 回のミーティング活動、早稲田祭への出展、プレゼンテーション大会への出場や各種イベント参加を通してスーンの活動を知っていただくために活動しています。

◆活動計画

1 年を通じて週 2 回、ラオス渡航に向けたミーティングをしています。今年度は 11 月に早稲田祭の出展、12 月から 1 月の冬休みの時期にラオス渡航を予定しています。その他日本でのラオスに関する企画等に参加することもあります。

*ミーティングの曜日は未定です。決まり次第 twitter 等でお知らせしますので、よければご確認ください。

◆Episode

昨年に続き、今年もコロナの影響で渡航を諦めざるを得ませんでした。このために準備することが活動の中心であったため、とても残念であった一方、国内活動の充実を図ることができました。授業動画作成、講演会、子どもたちにプレゼントを送るプロジェクトやラオスに造詣がある方々との座談会等数々のプロジェクトを立ち上げ、現地に行けなくてもラオスと繋がりを絶やさぬよう様々なことに挑戦しました。

プロジェクトを進めていく中で、他のボランティア団体や企業様、ラオス人留学生の方など様々な方のご支援をいただきました。どのような状況でも全員が柔軟な考えを持ち、自分たちができることを考える力が身についたと思います。

問い合わせ先 sung.shinkan@gmail.com

メンバー数 15 人

参加費用 渡航費 約 25 万円

活動時期・頻度 ミーティング週 2 回・ラオス渡航年 1 回
(冬予定)



WHABITAT

国際・住居支援・農業



WHABITAT は、主に東南アジアなど貧困地域での住居支援を行う国際 NGO 団体『Habitat for Humanity Japan』の学生支部です。コロナ禍の現在、毎週水曜日に国内外の社会問題について学ぶミーティングを行うほか、不定期の国内ボランティア、春夏休業期間には長期プロジェクトのボランティアを行っています。またボランティア以外にも、定期的なレクやイベントを行っています。時に真面目に、遊ぶときは全力で楽しむサークルです！

(例年は、長期休みに東南アジアなどでの住居建築ボランティア、国内派遣ボランティア、夏合宿や冬合宿を行っています。)

◆活動計画

4 月 新歓イベント、レク、国内ボランティア 5 月 新歓イベント、国内ボランティア、(新歓合宿)
6 月 国内ボランティア、レク、(早慶戦観戦、1-4 年会) 8 月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、(納会、夏合宿、海外住居建築ボランティア (GV)) 9 月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、(海外住居建築ボランティア (GV)) 10 月 国内ボランティア 11 月 レク、引退式、(早稲田祭)
12 月 (クリスマスパーティー) 1 月 (新年会) 2 月 国内ボランティア、(冬合宿、海外住居建築ボランティア (GV)) 3 月 国内ボランティア、(海外住居建築ボランティア (GV))
+ 毎週水曜日、大学付近でのミーティング (長期休み期間は不定期) ※カッコ内はコロナ以前のもの

◆Episode 『「できること」を考える』

入学以来、コロナの影響で思うように活動できないことにもどかしさを感じていました。そんな中、2 年生の夏休みにサークルでチーム活動を行いました。コロナ禍の今、自分たちにできることって何だろう？をテーマにたくさん話し合いを重ねることで、自分が「できない」に注目し視野が狭くなっていることに気が付きました。最終的には SNS を活用しながらインターネット上での募金活動を行い、仲間の協力もあり、結果として目標金額を超える寄付を集めることができました。

この経験を通し、どんな状況であっても、広く世界を見渡せば、新たな可能性を発見することができる、ということ学びました。それ以降は、一歩下がったところから「できる」に注目するようになりました。

問い合わせ先 whabitat.mail@gmail.com

メンバー数 96 人

参加費用 3,000 円

活動時期・頻度 毎週水曜日のミーティング(緊急事態宣言時等は ZOOM で)、不定期ボランティア、レクリエーション



ロータリーの会

環境・教育・地域交流・国際



ロータリーの会は高田馬場駅前ロータリーのゴミ放置問題の解決を目的に、日々様々な企画を考案・実行しています。高田馬場駅前ロータリーは早大生にとって身近で、長年に渡って愛されてきた場所です。しかし、そのロータリーをまるで自分たちだけのものかのように利用し、ゴミを残してしまう「伝統」が続いてしまっています。もちろん、そうした人は早大生の一部であり、ロータリーを汚しているのも早大生だけではありません。その分、壁は大きく、一朝一夕で解決しない問題であることは事実です。

しかし、だからと言ってこの問題から目を背けて良い理由にはなり得ません。例えどれほどの月日がかかろうとも、高田馬場という街に直接関わる私たち早大生一人ひとりが関心を持ち、真摯に対峙し続けるべき問題であると当会は考えています。一人の早大生として、ぜひあなたの力を貸してください。

◆活動計画

随時

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと -「拾う人」の存在で成り立っている街-

高田馬場駅前ロータリーには多種多様な人が集まる。出勤前に一服する社会人、待ち合わせ場所として利用する若者、路上パフォーマンスをする者や路上生活者もいる。夜に近づくにつれ、学生を中心に賑わう光景は見慣れたものだ。そして、日付が変わる頃には目を覆いたくなるほどの、無数の散乱ゴミで荒れ果ててしまっている。しかし、スーツを着たサラリーマンたちが午前9時前、喫煙所に集まる頃には、ほとんどゴミが残されていない。一体誰が、いつ綺麗にしているのだろうか。あれほどの量のゴミを何人で、どれくらいの時間をかけて片付けているのか。清掃しているのは地域のボランティアの方なのだろうか。様々な思考を巡らしながら始発の電車に乗り、この目で確かめに行った。

午前8時過ぎ、大きなゴミ箱を載せた台車を運びながら清掃している2人の姿が見えた。拾っていたのは、「関係ない」はずの年配者だった。

問い合わせ先 rotary.waseda1920@gmail.com

メンバー数 35人

参加費用 なし

活動時期・頻度 毎週月曜日～金曜日、随時



いぐべおぐに

地域交流



いぐべおぐには山形県の小国町を訪れ、祭りなどの行事を通じて現地の人々との交流をしています。マタギの方々のお祭りである「熊祭り」や、有数の豪雪地帯である小国のとんでもない量の雪を利用する雪祭り、食べ物ではいまでもなく美味な米沢牛をはじめ、肉厚でうまみの詰まったきのこや町のマスコットにもなっている蕨、山形地鶏など、楽しいことにもおいしいものにも恵まれている、そんな小国町で活動しています。

◆活動計画

5月：熊祭りに参加 3月：雪祭りに参加 その他年間を通して小国町の方々と交流

◆Episode

我々いぐべおぐにや小国町の人々が繋がるfacebookグループ「小国町ファン組織」。今年の八月小国町に行きたいと思いそのグループで「誰か泊めていただけませんか」と呼び掛けてみると、町の方からありがたいも「泊まっていよ」とのお声をいただきました。

片や東京、片や山形と物理的には250キロも離れていますが、我々、そして先輩方の長年の活動によって着実に良い関係を作ることができていることを実感できました。

問い合わせ先 igubeoguni@gmail.com

メンバー数 10人

参加費用 なし

活動時期・頻度 通年、頻度は未定



ISHINOMAKI の朝日プロジェクト

防災・教育・ビジネス



私たちの団体は、2019年に発足した新しい団体で、「防災×教育×ビジネス」に関する活動をするボランティアサークルです！現在は15名のメンバーでオンライン中心に活動しています。メンバー全員が活動に積極的に参加しており、先輩後輩関係なく日頃から活発な議論が行われています。

メインイベントの一つである、中学生向け防災ビジネスプランコンテストでは、活動を通して中学生の成長を感じることができ、防災について深く考えることや外資系企業 J.P.Morgan の社員の方との交流によって、自らの成長にもつながります。

◆活動計画

春学期 秋学期の活動の準備・新企画立ち上げ

8月 石巻合宿

秋学期 中学生向け防災ビジネスプランコンテストにボランティアとして参加

◆Episode

今年度は宮城県の巨理町立逢隈小学校のご協力のもと、9月に小学6年生を対象としたzoomによるオンライン授業を開催したり、12月に同小学校で行われたクリスマス会に参加したりと、子どもたちと多く関わることができました。オンライン授業では私たちがゼロから授業を企画し、「地域の魅力発見」「キャリア」「防災」をテーマとした授業を行いました。

オンライン開催という初めての取り組みで色々な問題が発生する中、メンバー全員で試行錯誤し、チャット機能やブレイクアウトルームを活用することで、当日は子どもたちと活発に交流することができました。後日小学生から「楽しかった」との言葉がかかれた手紙が届き、メンバー全員とても感動しました。

問い合わせ先 ishinomaki.asapuro@gmail.com
メンバー数 16人
参加費用 入会費 3,000円
活動時期・頻度 週に一度のミーティング（時期によって変動）



いすみっこ

地域交流・観光・水産業・教育・獣害対策・ローカル鉄道・環境保護



いすみっこは千葉県九十九里浜の南端にあるまち、いすみ市で活動する地域交流 & 企画サークルです。普段はいすみの方と交流したりお手伝いしたり、東京にはない自然や「美食のまち」であるいすみ市の食を楽しんだりします。交流やお手伝いを通じ、「こんなことしたらおもしろそう！」というちょっとしたアイデアを、まずはやってみるのがいすみっこです。現在は観光、教育、漁業、獣害、竹林、鉄道の6つのプロジェクトが展開されています。

いすみ市を楽しみながら、皆さんの得意なことを活かしてみませんか？

◆活動計画

毎週1回6つのプロジェクトのうち、所属するプロジェクトごとにZoomにてミーティング
通年：6つのプロジェクトのうちから希望するプロジェクトを自由に選ぶことができます。

- ・地域を楽しむためのアプリ、「いすみん帳」の開発
- ・ローカル鉄道「いすみ鉄道」とコラボした沿線活性化プログラムの開発
- ・いすみ市や周辺地域の漁業を学ぶ勉強会や、漁業のPRする企画
- ・いすみ市の小学校と連携したプログラミング授業や、交流企画の実施
- ・いすみ市の獣害問題を理解してもらうためのボードゲームの作成
- ・いすみ市の放置竹林整備のお手伝い、竹林を使用したイベント「チクリンピック」の実施

◆Episode「いっしょにやろう」と言ってくれるまち、いすみ

新歓合宿で、畜産農家さんが地域の「いらない」酒粕を使って牛を飼育していることや、猟師さんが深刻な獣害を引き起こすキョンの皮でグッズを作っていることを学び、ミーティングで「いらないものを楽しく使う」というテーマで企画をつくらうと決めました。竹林問題が深刻で「竹なんていらないとされるいすみで「竹を楽しみ使おう！」ということで「竹水鉄砲サバイバルゲーム」を開催しました。

しかしイベントを開催したことがない私は不安しかなかったですが、市役所の方からの指導や竹林の伐採・加工場所に関する地域の方々からの紹介にとっても助けられました。決して「他人事」にはしない、いすみ。一緒に行ってみませんか？

問い合わせ先 isumi.waseda@gmail.com
メンバー数 30人
参加費用 なし
活動時期・頻度 通年・毎週一回 Zoom でのミーティング、月1回程度いすみ市訪問



学習支援 STEP UP !

教育



皆さんは、「教育格差」という言葉を知っていますか？「教育格差」とは、「生まれ育った環境により、受けることのできる教育に格差が生じる問題」のことです。私たちは、この問題に向き合うべく、経済的な事情によって塾に通いたくても通うことができない小・中学生を対象に、無料で勉強を教えています。勉強を通じて、生徒の将来を真剣に考え、生徒と講師が互いに学び合うことができます。

また、大学生だけでなく高校生や社会人も講師ボランティアとして活動に参加しているため、幅広い交流ができることも魅力の一つです。

◆活動計画

- 4月～7月：通常塾（前期）
- 8月：夏季講習
- 9月～2月：通常塾（後期）

◆Episode

私たちの活動は、子どもたちに単に「勉強を教える」ことだけではありません。生徒・講師間で頑張ったことや嬉しかったことをシェアし、互いを褒め合うワークショップや、オンラインイベントの企画・運営、そして、授業前後の子どもたちとの何気ないやり取りにも全力で取り組んでいます。子どもたちの心に親身に寄り添うことで、彼らが自分に自信を持ち、自他を共に大切にすることを育むことができますよう、サポートに努めています。講師とのやり取りに最初は緊張している子どもも、じつと同じ時間を共有することで、徐々に心を開いてくれます。

学校での様々な出来事を教えてくれる子どもたち。講師にも自然と笑顔が溢れます。

問い合わせ先 stepupgakusyu@gmail.com
メンバー数 70人
参加費用 年会費 1,000円
活動時期・頻度 毎週土曜日 15:30～18:30



学校ボランティアプロジェクト

教育



「子どもの『できる』を増やし、成長を支援する」という理念を掲げ、提携している都内の公立小中学校に大学生をボランティアとして派遣しています。ボランティアは教室に入り、授業中はクラス全体を見て個別に声かけを行ったり、ある特定の子に付き添ってサポートを行ったりします。休み時間は一緒に遊び、給食も一緒に食べます。その時に子供たちとお話したりすることもできます。これらの活動を通して子どもたちとの関係を深めていきます。私たちは子ども1人1人に向き合い、学習面・生活面での日々の成長を後押しします。

◆活動計画

- 通年：学校でのボランティア活動（週1回）
- 4月～5月：春のボランティア説明会・初期研修
- 6月：前期研修会
- 9月～11月：秋のボランティア説明会・初期研修
- 12月：後期研修会

◆Episode 大学生だからこそ、学校ボランティア

学校でボランティアを始めて、1年が経ちました。実際に授業に参加して、落ち着きのない子や授業に遅れがちな子を中心にサポートをしています。私がボランティアを行う中で心掛けているのは、先生でも子どもでもない、大学生という視点だからこそできるサポートです。クラス内の雰囲気を見ながら担任の先生と意思疎通を図る一方で、子ども1人1人と対等に向き合い、各々のペースで少しずつ「できる」を増やしていきます。

教員を将来目指す方にとっては、貴重な経験を積むことができますし、現在の教育現場に興味がある方にとっても、子ども達の日々の成長の一端を担えることにやりがいを感じるとともに、自分の成長を実感できると思います。

問い合わせ先 vp.info@roje.or.jp
メンバー数 20人
参加費用 ボランティア保険加入費（300円/年）、活動校までの交通費、給食費（希望者）
活動時期・頻度 通年（大学の時間割に合わせた活動時間の設定が可能）
週1回（半年間のサイクルで継続可）



狩り部

環境・狩猟・獣害問題



私たち「狩り部」は「獣害」という地方での深刻な問題の対策のお手伝いをするボランティアサークルです。月に一回程度、千葉県で鴨川などに赴き、猟師さんのお手伝いや獣害対策の仕事などを行っています。現地では自分たちで捌いた「ジビエ」を食べることもできます！他にも猟師さんからいただいた肉でジビエ料理会を開いたり、プロの猟師さんからお話をいただいたりしています。

一昨年から獣害対策ロボットを自分たちで作るプロジェクトも開始しました。狩り部でしかない体験、してみませんか？

◆活動計画

4~6月 新入生歓迎会兼勉強会、8月 夏休み現地活動、9月~10月 早稲田祭に向けた製作、12月 冬休み現地活動、2月~3月 春休み現地活動

*試験前、長期休みを除き基本的に週1回ミーティング

◆Episode 百聞は一見に如かず

「獣害問題」や「里山の過疎化」という言葉は多くの方が知っていると思います。私もニュースで耳にして知った気になっていました。しかし、初めて現地活動をした際に見た広大な耕作放棄地、放置され骨が見えるまで飢えた家畜に衝撃を受けました。如何に自分の視野が狭く、表面上の知識だけで片付けていたことを痛感しました。

だからこそ、ここで終わらせてはいけません。私たちは狩猟経験者ではなく、学生だからこそできることが沢山あります。各々が持つ個性を最大限に活かせる環境が狩り部にはあると考えています。



問い合わせ先 wasedakaribu@gmail.com

メンバー数 36人

参加費用 年会費 2,000円

現地活動費 5,000円

活動時期・頻度 週1回のミーティング、2ヶ月に1回を目安に現地活動

Grow Seeds Waseda

教育



私たちは、中学生を対象とした学習支援×居場所づくりのサークルです。「学力格差の是正」「所得減少による教育格差の緩和」「学校・家庭以外の居場所づくり」「大学生の教育的実践の場の創出」「普段できない体験型学習」の実現を目指して、週に2日(各3時間)活動しています。

現在は中学生の定員を10名とし、大学生はシフト制で、1日当たり5~8人が参加しています。教育学部のみならず、様々な分野を専門とする学生が所属しており、大学生同士の交流の場ともなっています。教職志望の方はもちろん、子どもが好きな方も大歓迎です！

◆活動計画

日々の活動を継続的に行っていきます。

◆Episode “Grow Seeds” 「種」

それはやがて芽を出し、葉をつけ、ぐんぐん成長していきます。そのためには、水や肥料、光などが必要です。時には、立ってられないような激しい雨風に吹かれることや、干からびてしまいそうな強い日差しに晒されることもあるでしょう。しかしそれらを乗り越えたのち、個性豊かな花を咲かせたり、立派な大木になったりするのは、

子どもは、そんな「種」と似ています。自身の力で主体的に生きようとするとともに、周りの環境に支えられて成長していきます。私たちはその「種(seeds)」を「育てる(grow)」サークルとして、2021年4月から活動を始めました。

今年は7つの種が立派に成長し、高校という新たな道へと踏み出しました。

問い合わせ先 growseedswaseda@gmail.com

メンバー数 46人

参加費用 なし

活動時期・頻度 毎週水曜日・金曜日(17:00~20:00)、月1回から参加可能



Ju-Ju～カンボジア村びと共生プロジェクト～

国際・地域交流



Ju-Ju はカンボジアのサンボー・プレイ・クックという遺跡をフィールドに活動している学生団体である。現在、サンボー地域では年々観光客が増えていて、地域自体が変化の只中にある。私たちは年に2回渡航し、さまざまな形で活動を展開している。

コロナ禍では、渡航に行けなため国内でできるプロジェクトを不定期で実施している。実績としては、カンボジアの高校生と「コロナと環境」をテーマにアンケート調査をしたり、クメール語の勉強会を開催したり、国内ボランティアに参加したり、カンボジア料理を食へに行く機会を設けた。

◆活動計画

4～8月渡航準備（週1回）、夏渡航（約2週間）、10～2月渡航準備（週1回）、春渡航（約2週間）

◆Episode

皆さんはカンボジアと聞いて何を連想しますか？多くの方が「貧困」か「アンコールワット」をすぐに思い浮かべると思います。それは、確かに一面としては正しいです。しかし、日本＝侍だ！と海外の方が思い込んでいると同様で、往々にしてそのようなイメージと現実とは完全に一致はしません。

Ju-Ju では年2回の渡航で現地の高校やフリースクールとの交流活動、また世界遺産であるサンボー・プレイ・クック遺跡とその周辺地域の環境保全ボランティアを行なっています。それ以外にも、世界遺産巡りやナイトマーケット観光などたくさんのアクティビティも行います。

楽しい「アクティビティ」「交流」、そして「ボランティア」を通じて新しいカンボジアを発見しませんか？

問い合わせ先 jujuspk3@gmail.com
メンバー数 9人
参加費用 1渡航 12～15万円
活動時期・頻度 夏休み・春休み（渡航参加は任意）



助走の場・雲

教育・若者支援



私たち、「助走の場・雲」は不登校や引きこもりなどの生きづらさを抱える若者のための居場所支援である「フリースペース」の開放と、子どもを対象とした学習支援の二つを活動の柱としています。フリースペースでは主に雑談やゲームをしたり、外で体を動かしたりなど、何気ない時を過ごしなが、利用者の方が生きづらさを少しでも解消し、次のステップを踏み出せるようお手伝いしています。

しかしながら、「生きづらさ」といっても千差万別です。その答えを探しながらスタッフ、利用者共に助走していく「育ちあいの場」でありたい、それが私たちのモットーです。

◆活動計画

毎週日曜日のフリースペース開放、平日の学習支援

◆Episode

私が「助走の場・雲」で活動を始めた大学一年時、不登校状態であった高校生の少年と出会いました。当時の彼は大学への進学希望を持ちながら、入れる大学はあるのだろうか、入っても上手くやっていけるのだろうか、という不安を抱えていました。実際にオープンキャンパスへ一緒に足を運んでも、大学の雰囲気におおされてすぐに退出してしまう、そんな状態でした。しかしながら、彼の悩みに真摯に向き合い勇気づけていった結果、第一志望の大学に無事合格することができました。

今では大学生活を楽しく語ってくれる彼の笑顔を見るたび、彼と最後まで伴走できてよかったなと実感します。そして同時に自分にとっても「雲」は居場所になっているのだと気付かされました。

問い合わせ先 josounobakumo@gmail.com
メンバー数 15人
参加費用 なし
活動時期・頻度 週1～2回



先生のための教育事典 EDUPEDIA

教育



「日本一多く、教員を支援する教育実践情報プラットフォーム」をビジョンとして掲げ 2008 年に発足。具体的には、教員対象の WEB メディア「先生のための教育事典 EDUPEDIA (<https://edupedia.jp/>)」を運営し、月間の閲覧者数は約 30 万人となっている。運営の主体は早稲田生を含む全国の大学生で、関東のみならず、関西や広島にも支部を持ち、合計メンバー約 100 人で活動。

取材・記事作成・広報・渉外など WEB サイトの運営に関わるほぼ全てのことを、大学生が主体的に行い全国の先生のために日々活動を続けている。

◆活動計画

3 月～4 月新歓

6 月合宿

9 月代替わり

取材・記事作成は自分の都合に合わせて

◆Episode

とある先生向けの勉強会に参加したときのこと。より良い授業を作り、子どもの学びを広げるために、忙しい仕事の合間を縫って多くの先生が集まっていました。プロとして日々子どもたちと向き合う先生方の発言には重みがあり、こちらは学ばせていただく一方でした。それでも EDUPEDIA の取り組みをご紹介しますと「よく使ってるよ、ありがとう！」「素敵な活動だね！」と励ましの言葉をかけてくださいました。

大学生の自分にできることはそう多くはない。けれど、先生のために、そしてその先にいる何千、何万もの子どもたちのために、自分の足でより良い教育の手がかりを集めていかねばならない。その決意を再び新たにしたりした日でした。

問い合わせ先 edupedia.info@roje.or.jp

メンバー数 約 100 人

参加費用 年会費 6,000 円

活動時期・頻度 2 週に 1 回、土曜にミーティング



つぼみプロジェクト

教育・復興支援



私たちは、東日本大震災で被害を受けた福島県南相馬市の子どもたちを対象としてキャリア教育を行っています。南相馬市では、震災の影響による失業や人口減少などによって、多様な働く大人を見られず、子どもたちが将来を描きにくいことが課題となっています。私たちは、そんな子どもたちが将来の可能性を広げるお手伝いをしている団体です。

子どもたちを東京に呼んで、実際にいろんな企業に行ったり、逆に福島までプログラムをしに行ったりと様々な活動を行っています！子どもだけでなく大学生も成長できる、そんなつぼみでみなさんを待っています！

◆活動計画

4 月：新歓

5 月：キックオフ（8 月のスタディーツアーにむけた企画作り開始）

7 月：つぼみ合宿（プロジェクト内の仲を深めるための合宿@未定）

8 月：東京スタディーツアー（南相馬市の子どもたちを東京に招待する 2 泊 3 日のキャリア教育ワークショップ@東京）

9 月：文集づくり（スタディーツアーの振り返り）

1 月：学習支援（冬休みに南相馬市の公民館で子どもたちの学習サポート@福島）

3 月：イベント（福島の小・中学校で子どもたちと交流する@福島）

◆Episode 「きっかけ」

みなさんの夢、そしてその夢を持ったきっかけはなんですか？きっかけが必ずあるはず。子どもの頃の社会科見学やお仕事体験、身近な働く大人など、様々な出来事が自分の将来を考えるきっかけになっていると思います。私自身も、高校の先生やテーマパークで出会ったキャストさんなど、これまでたくさんの人に「憧れ」や「きっかけ」を与えてもらいました。「だから今度は自分自身が誰かのきっかけになりたい！誰かにきっかけを与えたい！」そう思い、始めたのがつぼみプロジェクトでした。

問い合わせ先 tsubomi.info@roje.or.jp

メンバー数 約 20 人

参加費用 年会費 3,000 円

活動時期・頻度 週 1 回、日曜日 15～18 時ミーティング



NPO 法人 日本教育再興連盟 ROJE

教育



NPO 法人 ROJE は全国 2 箇所（関東・関西）に拠点を置き、「教育で未来を作る」を行動理念として活動している教育 NPO です。「自分の受けてきた教育に対して抱いている疑問を分かちあえる人が身近にほしい。」「教育に問題意識を持っているが、何から始めていいかわからない。」そんな思いを持った大学生が活躍できる場が ROJE にはあります。

小中高の学校現場での教育活動/教員向け WEB サービス運営/キャリア教育活動・防災教育の普及/教育イベント企画の 4 領域から教育課題の解決と価値の創造に挑み続けています。

◆活動計画

3～4 月：春新歓 6 月：入会式 9 月：合宿 10～11 月：秋新歓
その他の活動はそれぞれのプロジェクトや自分の都合によってさまざまです。

◆Episode

「教育」とひとことと言っても、どのような視点からどのように考えるかによってその見え方は変わってきます。ROJE は早稲田大学だけでなく、東大、お茶大、学芸大など様々な大学の、様々な学部の学生が集まって活動をしています。そのため、教育をみる視点や考え方は十人十色です。

自分とは異なる視点や考えをもつ仲間と共に活動し、意見交換をしてきたことで、教育に対する視野がかなり広がったように感じています。また、ROJE は小中高の学校現場での教育活動/教員向け WEB サービス運営/キャリア教育活動・防災教育の普及/教育イベント企画の 4 領域から構成されており、自分の興味に合わせた活動を選択することができます。

問い合わせ先 roje.info@roje.or.jp
メンバー数 約 100 人
参加費用 年会費 6,000 円
活動時期・頻度 不定期



無国籍ネットワークコース

人権、国際、地域交流



◆活動計画

4 月：新歓活動（説明会、WAVOC 企画参加等） 5 月：親睦会、勉強会
7 月：初回セミナー開催 11 月：早稲田祭出展 そのほか不定期でイベント開催（新型コロナウイルスの感染拡大具合にもよるが、対面での写真展開催や交流会、入国管理局の訪問、物資支援、絵本の読み聞かせ活動なども検討）

◆Episode 私たちにできること

私が無国籍ネットワークコースに入会したのは、ボランティアを経験してみたく、国籍を持たないことで普通の暮らしができない、そんな人たちが居ることにまず驚いたからです。私は自分のパスポートを使って国家間の移動ができ、病院や学校・様々な場面で日本国の助成を受け、気づかない当たり前の支援体制に守られているのだと思いました。

無国籍という事実で困る人がゼロになる世の中できなくとも、国や周りの人の柔軟な理解のため、私たちは学び、当事者に寄り添い、この社会問題を伝えていくことに取り組むのだと考えます。（2021 早稲田企画より）

今自分にできること

ロヒンギャ問題に関心はありましたが自分に何ができるのかを考えることはありませんでした。ロヒンギャ難民として認定された方の講演会では、差別を受けるロヒンギャの人たちは人権を守られず、国民、難民とも認定されない状況に置かれても尚国際社会は目を向けないことを訴えており、その中で彼は「日本も動いて欲しい」と言いました。私たち日本国民が動くことによって居場所を失った人々を救うことができると知りました。

「無国籍」という国際問題に対して今の自分の知識と力でどう問題に立ち向かうか、そして自分にできることはないというマインドセットを捨てて、これから貢献しようと考えています。（12 月 14 日 講演会にて）

問い合わせ先 stateless.youth@gmail.com
メンバー数 約 15 人
参加費用 なし
活動時期・頻度 年間を通して月 2 回のミーティング、
年数回のイベント



早稲田農業サークルこだま

農業・地域交流



私たち「早稲田農業サークルこだま」は埼玉県本庄児玉地域を拠点に地元の JA と連携して活動しています。具体的には、農業に関する勉強会や地域の農産物の地元や東京での PR 活動(地元の野菜を使った食のイベントなど)、地域の農家の方々のお手伝い、マーケティングの勉強を通じた農産物直売所活性化策の提案などです。

これらの活動を通して、本庄野菜の魅力発信や本庄児玉地域の方々との交流、メンバーの農業を含む地域についての知識向上を目指しています。

◆活動計画

通年：本庄訪問（月 1 回） 農家さんのお手伝い（本庄）部門別ミーティング（週 2-3）
4 月：新歓イベント 6 月：食品開発・本庄野菜 PR イベント 9 月-12 月：直売所視察
12 月：直売所販売方策提案会 2 月：本庄合宿 不定期：旅行・遊び企画

◆Episode 農業の魅力を発見する

多くの人が都市部に住む現代において、人々の食を支える農業は多くを知られることなく営まれています。このサークルに入会して以来、埼玉県本庄市周辺をはじめとする各地域の農家さんとの交流を通して、農業という特殊な産業のあり方や、時代に合わせた販売の方法を考える中で、地方や農業の魅力というものを知ることができました。

現地に行って身体を動かしながら考えることはとても楽しく、サークルの雰囲気もとてもいいです。普段体験できないような世界を知りたい人にぜひ入会していただきたいと思います。

問い合わせ先 agrikodama.waseda@gmail.com
メンバー数 48 人
参加費用 なし
活動時期・頻度 オンラインで週 2 回、本庄には月 1 回ほど訪問、その他随時企画を実施





まずはWEBで
募集情報を集めよう！

